

4月19日（日）日仏会館（東京 恵比寿）で

未来を育む 「医・食・意識の見える世界」～と題し（日本歯科東洋医学会 東北支部後援）  
横浜病院 院長 長堀 優先生、国境なき料理団理事サトケンこと佐藤研一さん、  
そして中山歯科矯正医院 院長中山孔壺による 3人コラボイベントが行われました。



震災後、出会うべくして出会った超多忙の3人のスケジュールと時空が奇跡的に調った素晴らしい「場」には、用意した100以上の席が、来るべくしておいで下さった方でびったり埋まり、ひとつの「和」が生まれたのを確かに感じました。いろんな場所から（海外・大阪・福島 etc.）さまざまな立場の方が参加して下さいました。そして、みなさん口々に「楽しかった！」「来てよかったです」「もっと聞きたいです」「また絶対呼んで下さい！」「素晴らしい企画をありがとうございます！」とほとんどの方から有り難いご感想を頂きました。アンケート用紙にもたくさんびっしり記入して下さいました。

演者、主催者側の予想を遙かに上回る反響でした。

○横浜病院の院長として初めてのご講演となった、「見えない世界が医療を変える～がんの神さまありがとう」の著者でもあられる、長堀優先生は～『同源の時代』をテーマに

・生体内での元素転換から微生物、土壌の話へ・ヒポクラテス「汝の薬を食事とせよ」「食べ物で治せない病気は、医者でも治せない」・映画「蘇生」のたいせつなメッセージ・中央構造線断層帯…などの奥深いお話から、、、

・愛と平和 身土不二 神土不二 医食 ～ すべては同源で、  
世界の夜明けは日本から という大切なメッセージを頂きました。



○全国各地を「食」を通して繋ぐ活動を続けるサトケンさんは～

『本来の自分に還る』をテーマに、エピソードを交え、分かりやすくおむすびひとつで家庭や親子関係が変わるというメッセージ、そして粘菌アメーバの映像から「ひとりひとり違う私たちが確かに繋がっていきける」という限りない可能性を示唆してくれました。



○歯科という入り口を通し独自の展開を震災後も続けてきた 中山孔壹は～『未来への種まき』と題し、食のリテラシーとトラウマ進化論を展開。・30年の臨床経験から症例を通しての自己紹介・新口腔科学の概念・食のリテラシー「食べることを識る」口から嚙んで食べることの本当の意味、いくつかのエピソードを通して食べ方は生き方を語る・震災後の取組みとして酸化度計測、水素ガム®開発経緯・トラウマとは何か・サルにおけるトラウマ/人間の出産とトラウマ/自らのデータ考察から・顔面とトラウマ/トラウマと膜の緊張/・トラウマリリースセラピー・トラウマは遺伝する！・トラウマ進化論「未来にトラウマはない！」・遺伝子だけでは決まらない。（エピジェネティクス）今のあなたが未来をつくる！など多岐に渡りお話させて頂きました。



その後3人による鼎談も行われ、それはそれは熱いトークが交わされ、会場は誰ひとり席を立つ人がいませんでした。



【所感…】

60兆の細胞ひとつひとつが「ひとりひとりの“私”」を成し、環境次第で遺伝子の振る舞いが変わる（エピジェネティクス）ように～ 私たちひとりひとりもまた「宇宙を構成する一部」であり、それぞれの生き方・心持ちが変わることで、地球の未来を変えることができる…そんな希望の種を私自身も頂けた、有り難い機会でした。受付、音響、進行、などでたくさんの心温かい方々のご協力、お手伝いを頂きました。そしてなにより…素晴らしい場を一緒に叶えて下さった参加者のみなさん、本当にありがとうございました。感謝を込めて。（中山孔壹 記）

